

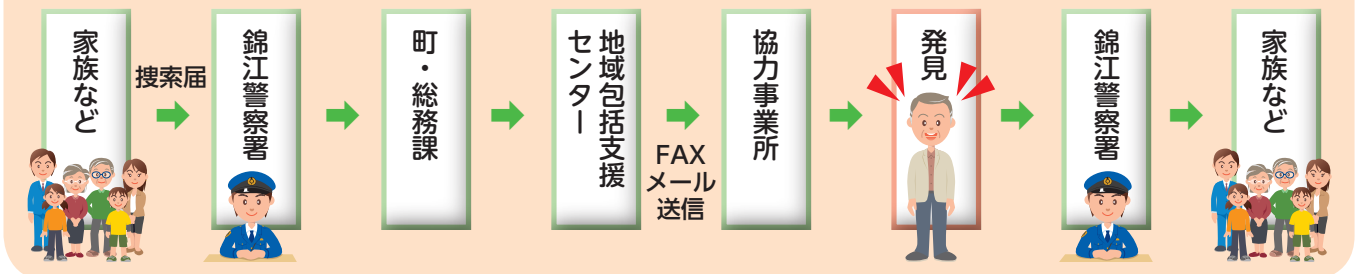


## 保健福祉課 住民生活課からの お知らせ

本庁 介護チーム TEL 0994-22-3030  
支所 民生チーム TEL 0994-25-2511

### ■ 錦江町徘徊高齢者 SOS ネットワーク開始!

#### 「徘徊高齢者 SOS ネットワーク」利用イメージ



### SOSネットで早期発見を 認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して…

徘徊高齢者SOSネットワーク事業は、認知症高齢者が行方不明になった場合に、地域の支援を受けて早期に発見できるように、関係機関や協力事業者との支援体制の構築を図るものです。

徘徊のおそれがある高齢者の名前や特徴、写真などの情報をネットワークに事前登録しておくことで、行方不明となったときに、関係機関などへの情報発信が速やかに開始されます。

#### ■ まずは事前登録を

徘徊のおそれがある高齢者のご家族には、ネットワークへの事前登録をお勧めします。

本人の顔写真と全身写真および印鑑を持参し、保健福祉課内地域包括支援センター、支所住民生活課の窓口で手続きをしてください。

#### ■ ネットワーク事業協力機関募集

徘徊事例が発生したときに、FAXやメールによる情報提供を受けて、搜索に協力していただける事業所・商店などを募集します。

具体的な搜索活動を依頼するものではなく、各協力機関の通常業務の範囲内での情報提供をお願いするものです。

詳しくは、保健福祉課内 地域包括支援センターへお問い合わせください。(TEL 22 - 3030)

### 徘徊高齢者 SOS ネットワーク 協力事業所



錦江町

徘徊高齢者 SOS ネットワーク協力事業所とは、地域の認知症高齢者で徘徊のある方を、あたたかく見守ってくださる事業所です。

#### 認知症とは…

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたために、さまざまな障害が起こり、生活するうえで支障を来す状態をいいます。

認知症になると、記憶障害や判断力の低下といった症状のほか、時間・場所・親しい人が分からなくなる、言葉が出てこなくなる(失語)、計画を立てて行動ができないなどといった症状が現れます。また症状が進行すると、排泄の失敗や物盗られ妄想、徘徊といった行動を取る人も出てきます。

厚生労働省の調査によると、認知症高齢者数は年々増え続け、平成27年度には高齢者の10人に1人以上になると推測されています。

#### あなたも認知症 サポーターになりませんか

町では、認知症になっても安心して暮らせる街づくりを目指し、「認知症サポーター講座」を開催しています。「認知症サポーター」は何か特別なことをする人ではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症の応援者」です。講座は、10人程度の小人数から開催することができます。受講者には、サポーターの証として、「オレンジリング」をお渡しします。

#### 【申込・問い合わせ先】

保健福祉課内 地域包括支援センター  
(TEL 22 - 3030)